

国立大学法人筑波大学の中期目標新旧対照表

現 行	変 更	変更理由								
<p>◆中期目標の期間及び教育研究組織</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>別表2 (共同利用・共同研究拠点、教育関係共同利用拠点)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">共同利用・共同研究拠点</td> <td>計算科学研究センター 下田臨海実験センター 遺伝子実験センター</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">教育関係共同利用拠点</td> <td>日本語・日本事情遠隔教育拠点 (筑波大学留学生センター)</td> </tr> </table>	共同利用・共同研究拠点	計算科学研究センター 下田臨海実験センター 遺伝子実験センター	教育関係共同利用拠点	日本語・日本事情遠隔教育拠点 (筑波大学留学生センター)	<p>◆中期目標の期間及び教育研究組織</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>別表2 (共同利用・共同研究拠点、教育関係共同利用拠点)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">共同利用・共同研究拠点</td> <td>計算科学研究センター 下田臨海実験センター 遺伝子実験センター</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">教育関係共同利用拠点</td> <td>日本語・日本事情遠隔教育拠点 (筑波大学留学生センター) <u>ナチュラルヒストリーに根ざした森と草原の生物多様性教育拠点 (筑波大学菅平高原実験センター)</u></td> </tr> </table>	共同利用・共同研究拠点	計算科学研究センター 下田臨海実験センター 遺伝子実験センター	教育関係共同利用拠点	日本語・日本事情遠隔教育拠点 (筑波大学留学生センター) <u>ナチュラルヒストリーに根ざした森と草原の生物多様性教育拠点 (筑波大学菅平高原実験センター)</u>	<p>菅平高原実験センターが教育関係共同利用拠点に認定されたため</p>
共同利用・共同研究拠点	計算科学研究センター 下田臨海実験センター 遺伝子実験センター									
教育関係共同利用拠点	日本語・日本事情遠隔教育拠点 (筑波大学留学生センター)									
共同利用・共同研究拠点	計算科学研究センター 下田臨海実験センター 遺伝子実験センター									
教育関係共同利用拠点	日本語・日本事情遠隔教育拠点 (筑波大学留学生センター) <u>ナチュラルヒストリーに根ざした森と草原の生物多様性教育拠点 (筑波大学菅平高原実験センター)</u>									

国立大学法人筑波大学の中期計画新旧対照表

現 行	変 更	変更理由
<p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 教育に関する目標を達成するための措置</p> <p>(1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置 (略)</p> <p>○大学院における教育目標の明確化とその達成に向けた教育課程の編成・実施に関する具体的方策</p> <p>①大学院課程の教育目標を明確化して、大学院教育及び学位の質を担保する「筑波スタンダード(大学院版)」を策定・公表し、これに基づき体系的で実質化された大学院カリキュラムを編成・実施する。</p> <p>②修士課程と博士課程との有機的接続にも留意しながら、幅広い学際性と適正な研究倫理観の修得を目指した現行の「大学院共通科目」を拡充し、制度化する。</p> <p>③幅広い学際性や異分野融合性を必要とする分野における教育課程の革新を目指して、複数研究科間の教育課程の設置、海外の大学との連携を含む各種デュアル・ディグリープログラムを実施する。</p> <p>④鹿屋体育大学と体育・スポーツ学分野における共同専攻の設置を目指し、共同学位プログラム等を実施する。</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>2 研究に関する目標を達成するための措置</p> <p>(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置</p> <p>○国際的に卓越した水準の研究の達成に関する具体的方策</p> <p>①自然と人間、社会と文化に係る幅広い分野において、学術の長期的展望に立った質の高い基礎研究を推進するとともに、既存の学問分野を超えた協同を必要とする領域を積極的に開拓する。</p> <p>②国際的に高い成果の期待される分野、学際融合を先導する萌芽的な分野、世界トップレベルの拠点形成を目指す「国際統合睡眠医科学研究機構」における睡眠医科学分野など、本学の特色ある分野における研究を学長のリーダーシップの下で重点的に実施する。</p> <p>③国・地域社会や産業界と連携し、国内外の社会的課題の解決に積極的に取り組む研究を推進する。</p> <p style="text-align: center;">(略)</p>	<p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 教育に関する目標を達成するための措置</p> <p>(1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置 (略)</p> <p>○大学院における教育目標の明確化とその達成に向けた教育課程の編成・実施に関する具体的方策</p> <p>①大学院課程の教育目標を明確化して、大学院教育及び学位の質を担保する「筑波スタンダード(大学院版)」を策定・公表し、これに基づき体系的で実質化された大学院カリキュラムを編成・実施する。</p> <p>②修士課程と博士課程との有機的接続にも留意しながら、幅広い学際性と適正な研究倫理観の修得を目指した現行の「大学院共通科目」を拡充し、制度化する。</p> <p>③幅広い学際性や異分野融合性を必要とする分野における教育課程の革新を目指して、複数研究科間の教育課程の設置、海外の大学との連携を含む各種デュアル・ディグリープログラムを実施する。</p> <p>④鹿屋体育大学と体育・スポーツ学分野における共同専攻の設置を目指し、共同学位プログラム等を実施する。</p> <p style="color: red;">⑤国際的通用性のある教育システムの構築を目指し、欧米における大学間チューニング(専門分野別に学位の互換性を認め合うための調整)の調査・研究を行うとともに、企業・研究機関やボルドー大学(フランス)等の海外大学と連携した、ライフサイエンス分野における学位プログラムの平成29年度までの導入に向けて制度設計・構築を行う。</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>2 研究に関する目標を達成するための措置</p> <p>(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置</p> <p>○国際的に卓越した水準の研究の達成に関する具体的方策</p> <p>①自然と人間、社会と文化に係る幅広い分野において、学術の長期的展望に立った質の高い基礎研究を推進するとともに、既存の学問分野を超えた協同を必要とする領域を積極的に開拓する。</p> <p>②国際的に高い成果の期待される分野、学際融合を先導する萌芽的な分野、世界トップレベルの拠点形成を目指す「国際統合睡眠医科学研究機構」における睡眠医科学分野など、本学の特色ある分野における研究を学長のリーダーシップの下で重点的に実施する。</p> <p style="color: red;">③サイバニクス研究センターの体制を整備し、ロボット医療機器による健康医療の社会的課題解決に向け、基礎研究から世界水準の臨床研究、社会実装まで含めた医工融合研究を推進する。</p> <p>④国・地域社会や産業界と連携し、国内外の社会的課題の解決に積極的に取り組む研究を推進する。</p> <p style="text-align: center;">(略)</p>	<p>本学の機能強化のための取組みである「国際的通用性のある教育システムの構築」及び「世界トップレベル研究拠点形成に向けた研究センターの再編」を、第2期の重点計画として位置付け実施するため</p>

国立大学法人筑波大学の中期計画新旧対照表

現 行	変 更	変更理由
<p>(2) 研究実施体制等に関する目標を達成するための措置</p> <p>○研究企画機能の整備と研究支援の具体的方策</p> <p>①本部と教員組織である系の双方において研究に関わる企画・運営組織を充実強化し、両者の密接な連携の下に、学際的且つ国際的な研究の進展を促す。</p> <p>②個人研究からグループ研究まで分野の特性に応じた研究の様態と研究の発展段階を考慮しつつ、研究活動状況と研究戦略に基づいて基盤的研究経費と重点戦略経費を配分する研究支援システムを運用・改善する。</p> <p>③優れた研究成果を上げることが期待される研究グループや研究組織等に対し、研究資源の配分や研究支援者の配置、組織再編など、拠点形成のための適切な支援を重点的に行い、国際的な拠点形成を積極的に推進する。</p> <p>④研究センター(研究関係の学内共同教育研究施設)について、本部の主導の下に学内関係組織と協力して評価と見直しを行い、将来計画を策定・実施し、学際的で国際的な研究活動を展開する。</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>II 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 組織運営の改善に関する目標を達成するための措置</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>○柔軟で多様な人事制度の構築と優れた教職員の確保・育成に関する具体的方策</p> <p>①教育・研究並びに関連支援業務における多様な能力を尊重する柔軟な人事制度により優れた教員を確保するとともに、定期的な教員業績評価とテニユア・トラック制度などの適切な人事評価システムを整備・運用し教員の質の向上を図る。</p> <p>②業務の特性と職員個々の能力・適性・ライフスタイルに応じた柔軟で多様な人事制度を構築し、目標管理を基本とする適切な人事評価システムを整備・運用する。</p> <p>③若手・女性・外国人に配慮した教職員配置を促進し、人員構成の適正化と人材の多様化を実現する。</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>○学長のリーダーシップの下で大学運営のガバナンス体制を確立するための具体的方策</p> <p>①組織別の資源配分と活動状況の的確な把握を基礎とする組織評価システムを構築し、<u>人件費・教育研究予算・スペース等の資源を学長のリーダーシップの下に重点・戦略的に再配分するとともに、組織の見直しと将来計画策定に活用する。</u></p> <p>②本部と部局の機能・責任分担関係の明確化と部局運営の効率化により、意思決定の迅速化を実現する。</p> <p>③教育研究や大学運営等の諸活動の活性化に資するため、経営協議会での審議結果や意見交換を大学運営に適切にフィードバックするシステムを整備・運用する。</p> <p style="text-align: center;">(略)</p>	<p>(2) 研究実施体制等に関する目標を達成するための措置</p> <p>○研究企画機能の整備と研究支援の具体的方策</p> <p>①本部と教員組織である系の双方において研究に関わる企画・運営組織を充実強化し、両者の密接な連携の下に、学際的且つ国際的な研究の進展を促す。</p> <p>②個人研究からグループ研究まで分野の特性に応じた研究の様態と研究の発展段階を考慮しつつ、研究活動状況と研究戦略に基づいて基盤的研究経費と重点戦略経費を配分する研究支援システムを運用・改善する。</p> <p>③優れた研究成果を上げることが期待される研究グループや研究組織等に対し、研究資源の配分や研究支援者の配置、組織再編など、拠点形成のための適切な支援を重点的に行い、国際的な拠点形成を積極的に推進する。</p> <p>④研究センター(研究関係の学内共同教育研究施設)について、本部の主導の下に学内関係組織と協力して評価と見直しを行い、将来計画を策定・実施し、学際的で国際的な研究活動を展開する。</p> <p><u>⑤サイバニクス研究センターなど強みのある分野を形成・強化し、国際的な拠点形成を目指すため、平成30年度までに学内全ての研究センターの機能別再編成を実施すべく、研究センターの調査・分析を行い、再編計画を策定する。</u></p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>II 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 組織運営の改善に関する目標を達成するための措置</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>○柔軟で多様な人事制度の構築と優れた教職員の確保・育成に関する具体的方策</p> <p>①多様な人材を確保するため、人事・給与システムの弾力化に取り組み、適切な業績評価体制を整備し年俸制を導入・促進するとともに、定期的な教員業績評価とテニユア・トラック制度などを整備・運用し教員の質の向上を図る。</p> <p>②業務の特性と職員個々の能力・適性・ライフスタイルに応じた柔軟で多様な人事制度を構築し、目標管理を基本とする適切な人事評価システムを整備・運用する。</p> <p>③若手・女性・外国人に配慮した教職員配置を促進し、人員構成の適正化と人材の多様化を実現する。</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>○学長のリーダーシップの下で大学運営のガバナンス体制を確立するための具体的方策</p> <p>①組織別の資源配分と活動状況の的確な把握を基礎とする組織評価システムを構築するとともに、学長のリーダーシップの下で、<u>教育研究組織の再編成や人件費・教育研究予算・スペース等の学内資源の再配分を戦略的・重点的に行う。</u></p> <p>②本部と部局の機能・責任分担関係の明確化と部局運営の効率化により、意思決定の迅速化を実現する。</p> <p>③教育研究や大学運営等の諸活動の活性化に資するため、経営協議会での審議結果や意見交換を大学運営に適切にフィードバックするシステムを整備・運用する。</p> <p style="text-align: center;">(略)</p>	<p>本学の機能強化のための取組みである「国際的通用性のある教育システムの構築」及び「世界トップレベル研究拠点形成に向けた研究センターの再編」を、第2期の重点計画として位置付け実施するため</p>

国立大学法人筑波大学の中期計画新旧対照表

現 行		変 更		変更理由	
中期計画 別表 (収容定員)		中期計画 別表 (収容定員)		入学定員改定のため	
	人文・文化学群 960人 社会・国際学群 660人 人間学群 480人 生命環境学群 1,020人 理工学群 2,100人 情報学群 980人 医学群 <u>1,129人</u> (うち医師養成に係る分野 <u>675人</u>) 体育専門学群 960人 芸術専門学群 400人		人文・文化学群 960人 社会・国際学群 660人 人間学群 480人 生命環境学群 1,020人 理工学群 2,100人 情報学群 980人 医学群 <u>1,138人</u> (うち医師養成に係る分野 <u>684人</u>) 体育専門学群 960人 芸術専門学群 400人		
平成26年度	人文社会科学研究所 473人 ビジネス科学研究科 357人 数理物質科学研究科 813人 システム情報工学研究所 1,172人 生命環境科学研究科 1,075人 人間総合科学研究科 1,460人 図書館情報メディア研究所 137人 教育研究科 199人 (修士課程)	うち5年一貫課程 190人 前期課程 172人 後期課程 111人 うち前期課程 120人 後期課程 69人 専門職学位課程 168人 うち前期課程 480人 後期課程 333人 うち前期課程 854人 後期課程 318人 うち5年一貫課程 105人 前期課程 556人 後期課程 414人 うち修士課程 148人 医学の課程 248人 前期課程 698人 後期課程 366人 うち前期課程 74人 後期課程 63人	人文社会科学研究所 473人 ビジネス科学研究科 357人 数理物質科学研究科 813人 システム情報工学研究所 1,172人 生命環境科学研究科 1,075人 人間総合科学研究科 1,460人 図書館情報メディア研究所 137人 教育研究科 199人 (修士課程)		うち5年一貫課程 190人 前期課程 172人 後期課程 111人 うち前期課程 120人 後期課程 69人 専門職学位課程 168人 うち前期課程 480人 後期課程 333人 うち前期課程 854人 後期課程 318人 うち5年一貫課程 105人 前期課程 556人 後期課程 414人 うち修士課程 148人 医学の課程 248人 前期課程 698人 後期課程 366人 うち前期課程 74人 後期課程 63人

国立大学法人筑波大学の中期計画新旧対照表

現 行		変 更		変更理由																																																																															
中期計画 別表 (収容定員)		中期計画 別表 (収容定員)		入学定員改定のため																																																																															
	人文・文化学群 960人 社会・国際学群 660人 人間学群 480人 生命環境学群 1,020人 理工学群 2,100人 情報学群 980人 医学群 <u>1,138人</u> (うち医師養成に係る分野 <u>684人</u>) 体育専門学群 960人 芸術専門学群 400人		人文・文化学群 960人 社会・国際学群 660人 人間学群 480人 生命環境学群 1,020人 理工学群 2,100人 情報学群 980人 医学群 <u>1,156人</u> (うち医師養成に係る分野 <u>702人</u>) 体育専門学群 960人 芸術専門学群 400人																																																																																
平成27年度	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">人文社会科学研究科</td> <td style="width: 10%;">473人</td> <td style="width: 15%;">うち5年一貫課程 190人</td> <td style="width: 15%;">前期課程 172人</td> <td style="width: 15%;">後期課程 111人</td> </tr> <tr> <td>ビジネス科学研究科</td> <td>357人</td> <td>うち前期課程 120人</td> <td>後期課程 69人</td> <td>専門職学位課程 168人</td> </tr> <tr> <td>数理物質科学研究科</td> <td>813人</td> <td>うち前期課程 480人</td> <td>後期課程 333人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>システム情報工学研究科</td> <td>1,172人</td> <td>うち前期課程 854人</td> <td>後期課程 318人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生命環境科学研究科</td> <td>1,075人</td> <td>うち5年一貫課程 105人</td> <td>前期課程 556人</td> <td>後期課程 414人</td> </tr> <tr> <td>人間総合科学研究科</td> <td>1,460人</td> <td>うち修士課程 148人</td> <td>医学の課程 248人</td> <td>前期課程 698人</td> </tr> <tr> <td>図書館情報メディア研究科</td> <td>137人</td> <td>うち前期課程 74人</td> <td>後期課程 366人</td> <td>後期課程 63人</td> </tr> <tr> <td>教育研究科</td> <td>199人</td> <td>(修士課程)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	人文社会科学研究科	473人		うち5年一貫課程 190人	前期課程 172人	後期課程 111人	ビジネス科学研究科	357人	うち前期課程 120人	後期課程 69人	専門職学位課程 168人	数理物質科学研究科	813人	うち前期課程 480人	後期課程 333人		システム情報工学研究科	1,172人	うち前期課程 854人	後期課程 318人		生命環境科学研究科	1,075人	うち5年一貫課程 105人	前期課程 556人	後期課程 414人	人間総合科学研究科	1,460人	うち修士課程 148人	医学の課程 248人	前期課程 698人	図書館情報メディア研究科	137人	うち前期課程 74人	後期課程 366人	後期課程 63人	教育研究科	199人	(修士課程)			平成27年度	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">人文社会科学研究科</td> <td style="width: 10%;">473人</td> <td style="width: 15%;">うち5年一貫課程 190人</td> <td style="width: 15%;">前期課程 172人</td> <td style="width: 15%;">後期課程 111人</td> </tr> <tr> <td>ビジネス科学研究科</td> <td>357人</td> <td>うち前期課程 120人</td> <td>後期課程 69人</td> <td>専門職学位課程 168人</td> </tr> <tr> <td>数理物質科学研究科</td> <td>813人</td> <td>うち前期課程 480人</td> <td>後期課程 333人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>システム情報工学研究科</td> <td>1,172人</td> <td>うち前期課程 854人</td> <td>後期課程 318人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生命環境科学研究科</td> <td>1,075人</td> <td>うち5年一貫課程 105人</td> <td>前期課程 556人</td> <td>後期課程 414人</td> </tr> <tr> <td>人間総合科学研究科</td> <td>1,460人</td> <td>うち修士課程 148人</td> <td>医学の課程 248人</td> <td>前期課程 698人</td> </tr> <tr> <td>図書館情報メディア研究科</td> <td>137人</td> <td>うち前期課程 74人</td> <td>後期課程 366人</td> <td>後期課程 63人</td> </tr> <tr> <td>教育研究科</td> <td>199人</td> <td>(修士課程)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	人文社会科学研究科	473人	うち5年一貫課程 190人	前期課程 172人	後期課程 111人	ビジネス科学研究科	357人	うち前期課程 120人	後期課程 69人	専門職学位課程 168人	数理物質科学研究科	813人	うち前期課程 480人	後期課程 333人		システム情報工学研究科	1,172人	うち前期課程 854人	後期課程 318人		生命環境科学研究科	1,075人	うち5年一貫課程 105人	前期課程 556人	後期課程 414人	人間総合科学研究科	1,460人	うち修士課程 148人	医学の課程 248人	前期課程 698人	図書館情報メディア研究科	137人	うち前期課程 74人	後期課程 366人	後期課程 63人	教育研究科	199人	(修士課程)	
人文社会科学研究科	473人	うち5年一貫課程 190人	前期課程 172人	後期課程 111人																																																																															
ビジネス科学研究科	357人	うち前期課程 120人	後期課程 69人	専門職学位課程 168人																																																																															
数理物質科学研究科	813人	うち前期課程 480人	後期課程 333人																																																																																
システム情報工学研究科	1,172人	うち前期課程 854人	後期課程 318人																																																																																
生命環境科学研究科	1,075人	うち5年一貫課程 105人	前期課程 556人	後期課程 414人																																																																															
人間総合科学研究科	1,460人	うち修士課程 148人	医学の課程 248人	前期課程 698人																																																																															
図書館情報メディア研究科	137人	うち前期課程 74人	後期課程 366人	後期課程 63人																																																																															
教育研究科	199人	(修士課程)																																																																																	
人文社会科学研究科	473人	うち5年一貫課程 190人	前期課程 172人	後期課程 111人																																																																															
ビジネス科学研究科	357人	うち前期課程 120人	後期課程 69人	専門職学位課程 168人																																																																															
数理物質科学研究科	813人	うち前期課程 480人	後期課程 333人																																																																																
システム情報工学研究科	1,172人	うち前期課程 854人	後期課程 318人																																																																																
生命環境科学研究科	1,075人	うち5年一貫課程 105人	前期課程 556人	後期課程 414人																																																																															
人間総合科学研究科	1,460人	うち修士課程 148人	医学の課程 248人	前期課程 698人																																																																															
図書館情報メディア研究科	137人	うち前期課程 74人	後期課程 366人	後期課程 63人																																																																															
教育研究科	199人	(修士課程)																																																																																	

国立大学法人筑波大学の中期計画新旧対照表

現 行	変 更	変更理由
<p>Ⅷ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画</p> <p>○ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画</p> <p>1. 重要な財産を譲渡する計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代沢寮の土地及び建物（東京都世田谷区代沢一丁目92番10）を譲渡する。 ・石打研修所の土地及び建物（新潟県南魚沼市舞子字大原1819番2他）を譲渡する。 ・竹園3丁目宿舎の土地及び建物（茨城県つくば市竹園3丁目36番）を譲渡する。 <p style="text-align: center;">（略）</p>	<p>Ⅷ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画</p> <p>○ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画</p> <p>1. 重要な財産を譲渡する計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代沢寮の土地及び建物（東京都世田谷区代沢一丁目92番10）を譲渡する。 ・石打研修所の土地及び建物（新潟県南魚沼市舞子字大原1819番2他）を譲渡する。 ・竹園3丁目宿舎の土地及び建物（茨城県つくば市竹園3丁目36番）を譲渡する。 ・<u>下田臨海実験センターの船舶1隻（静岡県下田市 つくば18.27トン）を譲渡する。</u> <p style="text-align: center;">（略）</p>	<p>研究調査船「つくば」の老朽化に伴い代船建造を決定し、代船の竣工予定である平成26年度以降の使用計画がないため。</p>